



# 国民春闘共闘

第9号

2015年3月13日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015春闘・第1回賃上げ集計

## 単純平均 5,722円 2.02%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は12日、前日の集中回答を受け、第1回目の賃金改定集計を行いました。回答は前年を若干下回り、物価上昇のもと、生活改善に資する高い要求を掲げて交渉に臨んだ多くの仲間にとって、厳しい出だしとなりました。

### <回答状況>

	2015年	2014年
登録組合数	839	860
回答組合数	165 (19.7%)	174 (20.2%)
うち金額・率回答	126	134
うち「定昇のみ」など言葉による回答	39	40
うち上積み獲得	18 (10.9%)	11 (6.3%)
うち妥結組合数	16 (9.7%)	15 (8.6%)

### <回答内容>

集計方法&対象		2015年	2014年	(前年比)
単純平均	額(円)	5,722	5,929	-207
	率(%)	2.02	1.93	+0.09
加重平均	額(円)	5,375	5,603	-228
	率(%)	1.71	1.77	-0.06
	組合員数(人)	32,114	30,363	

### <前年実績との比較が可能な組合における回答状況(単純平均額での比較)>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	(前年超)	(同 額)
115	47 (40.9%)	35	12

### <前年実績との比較が可能な組合における単純平均額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	115	5,894	6,201	-307
	率(%)	75	2.08	2.24	-0.16

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇のみ」など言葉による回答は計算から除いています。

## 〈集計結果の概要〉

### 回答引出し・妥結状況

3月11日の第一次集中回答指定日を受けた第1回集計には、10単産・部会（うち全農協労連は「定昇」など言葉による回答、通信労組は「回答延期」のため総括表には表記せず）から報告が寄せられました。

登録839組合中、19.7%にあたる165組合が回答を引き出し、うち18組合（10.9%）が妥結しました。回答引出し率は、前年同期（2013年3月13日現在・20.2%）を0.5%下回っています。

このうち、地方マスコミで3次回答を引き出したのははじめ、3月4日を回答指定日に設定したJMIUや建交労の首都圏運輸基本集団交渉などの先行組合では、すでに18組合（10.9%）が2次回答を引き出しています。前年（同期11組合・6.3%）を上回り、今後の更なる追い上げが期待されます。

### 全体の回答内容

有額回答を引き出した8単産・部会での単純平均（一組合あたりの平均）は、5,722円・2.02%となっています。額では前年同期を207円下回り、率では0.09%プラスとなっています。加重平均（組合員一人あたりの平均）で見ると、5,375円・1.71%で前年同期比228円・0.06%のマイナスと昨年実績に届かない低額回答となっています。

そうした中、出版労連・5組合、JMIU・2組合、民放労連・1組合の計8組合が5桁の回答を引き出しています。また、JMIUで「ベア3,800円」、日本医労連で「ベア3,290円」を獲得するなど各組織からベア獲得の報告も寄せられています。

単産・部会別に見ると、有額回答報告のあった8単産・部会中、単純平均額では、JMIU、生協労連、出版労連、地方マスコミで前年同期比プラスとなりました。

規模別では、「29人以下」、「100~299人」が前年同期比微増となりましたが、「30~99人」、「300人~999人」、「1000人以上」ではマイナスとなっています。

### 前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での対比が可能な115組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,894円で、前年実績比マイナス307円となっています。このうち前年実績額以上を引き出したのは47組合（40.9%）にとどまっていますが、昨年実績未達の組合の半数近くが300円未達のわずかなマイナスとなっています。率では75組合の比較で0.16%のマイナスとなっています。

上積み獲得が増え、ベースアップ獲得の報告も寄せられるなど各組織の奮闘が伺える状況となっていますが、回答水準をみると「時間額150円以上、月額20,000円以上」の統一賃金要求目標や物価上昇のもと深刻化する実質賃金の低下による暮らしの悪化を考慮すれば十分な回答とはなっていません。組合員の生活を顧みない「回答延期」や「ゼロ回答」の報告も寄せられています。

今後の取り組み次第では上積みも可能な情勢です。暮らし悪化に歯止めをかけるために、「大幅賃上げは当たり前」の声を広げ、回答と上積みを勝ちとるたたかいを粘り強く継続して行きましょう。

**まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定**